

一関市における岩手県交通の運行状況等について

岩手県交通の伊壺でございます。日頃、バス運行についてご理解とご支援賜りまして誠にありがとうございます。

皆さんご承知のとおり、当社は、当県盛岡市以南を営業エリアとしており、先ほど、市の村上課長補佐様から一関市におけるバス交通活性化に向けた取組についてお話しがございましたが、当社は、この一関市地区に於いても市役所様のご支援とご協力を賜りながら運行しております。関係者の皆様に対しまして改めて御礼申し上げます。

さて、本日私がこの場に居りますことは、このセミナーの開催地域を運行しているバス事業者であるということで、バス事業者として、この地域で地域の活性化やバス事業の活性化のための取組について話すことが求められての事だと思っております。

一関市における当社のバス運行状況等についてお話しする前に、先の東日本大震災津波に関係する当社の県内における現在のバス運行状況と課題等について若干触れさせて頂きたいと思えます。

皆さんご承知のとおり、先の東日本大震災津波により当県沿岸地域は甚大な被害を被りました。多くの人命が奪われ、まちが津波で流されるなどしました。私どもの営業所や車両も津波で流されるなどしましたが、震災直後から被災者の生活の足として、また、被災関係者や復興関係者等の足としてもできる限りの対応をさせていただいてきました。現在も震災に伴う運行として、JRさんから委託を受けて陸前高田市、大船渡市に於けるBRTの運行やその他の自治体さんも含めスクールバスの運行等を行っております。震災当時、私は岩手県バス協会に勤務しておりましたが、バスは、当時は正に被災地域の方々の生活の足として、また、被災者の2次避難にあたり、バス業界を挙げて大きく貢献できたと考えており、改めて、災害時のバスの役割の重要性を認識いたしました。

さて、一関市における当社の運行状況、取組についてお話しさせて頂くところですが、一関地区に於いて、地域の活性化のために取り組んでいるものは、当社としては特段ございません。ただ、他の地域でも行われておりますような、自治体さんと協力して、と言うか市さんから委託を受けて「なの花バス」と萩荘線という路線を運行しております。運行にあたっての課題もある訳ですが、これについては、(先ほど市の村上課長補佐様からご説明ございましたとおり)市さんの「総合連携計画」の中で改善していく計画とのことですので、私どもも一緒になって取り組み、地域の皆さんの生活の足としてその役割を担って参りたいと考えております。

私どもバス事業者は現在多くの課題を抱えております。具体的に申し上げますと、従来から続いているバス利用者の減少や燃料高騰等による運行経費の増大、安全対策費の増大等と併せて運転士不足が深刻な状況となっております。運転士不足は全国的な問題ともなっておりますが、岩手県に於いては特に東日本大震災以降顕著になっており、当社では定年退職を迎える運転者も多くなるタイミングと重なって、当面増加が見込めない状況です。

今後は効率的な運行やダイヤの見直し等も余儀なくされるのではないかと考えておりますが、県民の生活の足確保のために最善を尽くして参りたいと考えております。

この様に事業者としては、今日、非常に厳しい環境下にあります。今日の鈴木先生のご講演、吉田先生はじめパネラーの皆さんのお話を参考にさせて頂き、地域住民の生活交通の維持・確保並びに地域の活性化のために課題を克服、解決しながら自治体さんと連携・協力して運行して参りたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

また、一関市に隣接する平泉町には世界遺産に登録されたことにより多くの観光客が訪れております。当社も観光客の足を確保のため一ノ関駅から路線バスを運行しておりますし、生活路線というよりは観光路線的性格が強いわけですが、遺産を巡る路線バス「るんるん」や定期観光バスも運行しております。世界遺産登録から3年が経過し、利用客は減少傾向にありますが土日祝日を中心に一定のお客様にご利用戴いております。

この様な取組が地域の活性化につながってくれることを切に願うとともに、利用者に安全で快適な、そして、安心してご利用いただけるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。